

PHIJ 研修を終えて

大森歯科メンテナンスクリニック
歯科衛生士 大森弘子

自分の歯科衛生士人生で、とても貴重な経験をさせていただけた9ヶ月でした。
行ってよかった。頑張ってたかった。素敵なメンバーに会えてよかった。
それが今の素直な感想です。

大森歯科医院として地域で30年、父が患者さんのためにと働く姿を見ながら私も弟も同じ道を歩むようになりました。30年目の節目でチェア8台と新規拡張・移転をし、さあこれから！！という時に父が心筋梗塞で倒れ、、実家の医院で働く予定のなかった私も弟も急遽、働く事になりました。新たな環境や器材の導入、以前は行っていなかったインプラントや矯正治療も加わり、色々な変化の中、今まで勤めてくれていた歯科衛生士さんが辞め、何の引き継ぎもない中、、何の経験もない私が突然、新人歯科衛生士を引っ張る事になりました。無我夢中でした。毎日毎日、来てくださる患者さんに、自分なりに歯の健康のため、メンテナンスを行っていました。そんな中で、どうしてこの患者さんのパノラマがないんだろう、デンタルがないのかな、歯石の有無が知りたいのに、本当に除去できているのかな？本当にこのSRPで大丈夫なのか？以前の口腔内の状態はどんな感じだったのだろう？口腔内写真がないから分からない、、と様々な疑問が出てくるようになりました。そんな中、弟に誘われたのがこのPHIJでした。正直、日々の診療でいっぱいだったもので、これ以上私に何をさせるの？と内心想っていました。

いざ始まると、すでに完成された医院も多く、そのクオリティーの高さに圧倒されました。そしてそこで知った『MTM』 あ、これだ！！と思いました。

リスクをしっかりと分析し、データの基づいて確実に治療を行う。その後はメンテナンスへと移行しその状態を維持し、生涯健康で楽しくすごしてもらおう。それがこの歯科医療で行えることに、とても興奮したのを、今でも鮮明に覚えています。毎回教えていただいたこと、全てを理解することはなかなか難しかったですが、何度も読み返し、スタッフ達とも勉強をし、少しずつ知識を深めることができました。初回の症例発表では、作ることに必死で、自分でもよくわかりませんでした。最終症例発表の時には、まずは口腔内写真を撮れるようになるために器材を買い、練習をし、慌てず焦らず出来ることから着実にしていこうと心がけ、今できることは出せたと同時に達成感でいっぱいでした。以前はMTMという言葉にとらわれ、どうすればいいのか全くわからなかったのですが、最終症例発表を終えた時、なぜかスッとMTMという言葉に何の違和感もなく、患者さんのためのことを思うと、やって当たり前、むしろ確実なデータがない事に違和感を覚える感覚になりました。今までも、自分の中では患者さんのためにと思っていたのですが、それはその思いだけで、実際には行動に移せていなかったのだと気付かされました。

すぐにはできませんが、、まずは知識とスキルを身につけ、スタッフと情報を共有し、近

い将来、この MTM が当たり前になる日が来るよう、精一杯努力し、楽しみたいと思います。

大森歯科メンテナンスクリニックに行けば、関西人的に言う、何でもちゃんとしてくれるで！ あそこに行ったら間違いないわ！そう言っていただける医院になれるよう、そして地域を代表する、大阪を代表する医院に成長していきます。築山先生はじめ、他の先生方へここまで成長できました！見に来てください！と自信を持って言えるその日まで、

本当に9ヶ月、有難うございました。

感謝感激です！